



自衛隊栃木地方協力本部

那須塩原市立大山小学校防災教育



止血法を展示する様子



薪割り・火おこし体験の様子



栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田 陸尉）は、10月30日（木）及び31日（金）に行われた那須塩原市立大山小学校防災教育を支援した。

本教育は大田原地域事務所として昨年度に引き続き行われ、大山小学校6年生約110名が参加した。教育では、那須塩原市危機管理課等の協力により、ダンボールベッド体験、火おこし体験及び非常食（レトルト食品）の炊き出し体験などを行い、防災への意識を高揚させる目的で行われた。

大田原地域事務所は、身近にあるものを利用した応急的な止血方法（タオルと鉛筆による止血法）を行い、生命を守る手段の一例を教育した。最初は、慣れない動作で上手くいかなかったが、何度か実施していくうちに、上達している姿が確認できた。

また、ダンボールベッド体験と止血体験が終わった生徒たちは、グループに分かれて薪作りや火をおこし体験、非常食の炊き出し体験を行った。食後に各グループに感想を聞いてみると「とてもおもしろくできた」「お米が少し硬かった」「災害の時に役立つことを教えてもらえてよかった」などと笑顔で述べていた。

大田原地域事務所は「今後も、学校との連携を継続していくとともに、自衛隊の魅力を発信していく」としている。



挨拶をする大田原地域事務所長

「自衛隊・警察・消防合同職業説明会」小山市中央公民館で開催 ～就職の一助に～



説明会実施状況



自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 小林 一空尉）は、11月2日（日）、小山市中央公民館において公安系3団体合同職業説明会を小山市役所の支援を受け開催した。

当日は朝早くから説明会の参加者が集まり、自衛隊・警察・消防の魅力を示すことなく説明することができた。特に、説明会終了後の個別対応では、それぞれの職業に興味ある参加者がさらに詳しい説明を聞くなど有意義な時間を過ごしていた。

小山地域事務所は、「今回の説明会は初めて県南エリアでの開催であったが、栃木県内南部以外からの参加もあり、今後も継続した実施をしていく説明会であったと考える。

自衛隊募集のためのイベントを様々な方法で行い、自衛隊への興味や理解促進を図り、今後も積極的に募集活動に推進していく」としている。